

寄附文化醸成に関する勉強会

**次の世代の子どもたちのために、
今、寄付文化を醸成する。**

日本ファンドレイジング協会
代表理事 鵜尾雅隆



2013年10月21日

「寄付文化醸成」は、明治維新以降の「行政に過度に依存した社会サービス」のパラダイム・シフトを起こす歴史的に重要なチャレンジ

社会のために役立ちたい人7割弱の時代、震災での寄付者8割弱、2025年高齢者1/3という中で、一人一人が「役割を果たす」次のステージに日本社会を移行する

寄付促進のためには、寄付者のライフサイクルでの「タテヨコのトータルの発想」、即ち、共感型出資・融資と共感型寄付促進を一体で考え、かつ、人生を通じて、寄付者が「育っていく」発想が必要。



5年前の寄付を取り巻く優先課題

政策上の課題

寄付税制改正、NPO法改正、一覧性の高い情報開示
ファンドギビング信託、社会投資減税等

+

「寄付市場」形成の課題

魅力的なIT寄付プラットフォーム、寄付市場の可視化(白書)、
寄付教育、業界と連携した寄付促進策、コミュニティファンド
の拡大等

+

ファンドレイジング力、
の課題

ファンドレイジングの倫理基準の制定。
成功事例を共有するファンドレイジング大会、
認定ファンドレイザー資格制度等



寄付の成功体験と機会の変化(空気の変化)

ファンドレイザーの育成

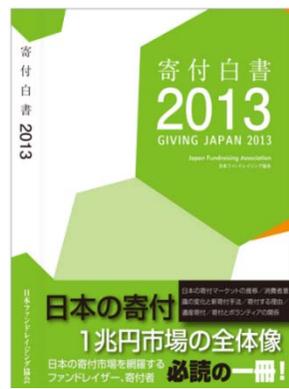
×

寄付市場の拡大



ファンドレイジング・日本

年1回開催。1,011名参加



寄付白書

認定ファンドレイザー 資格制度、創設



×



「寄付の教室」 全国70教室で開催

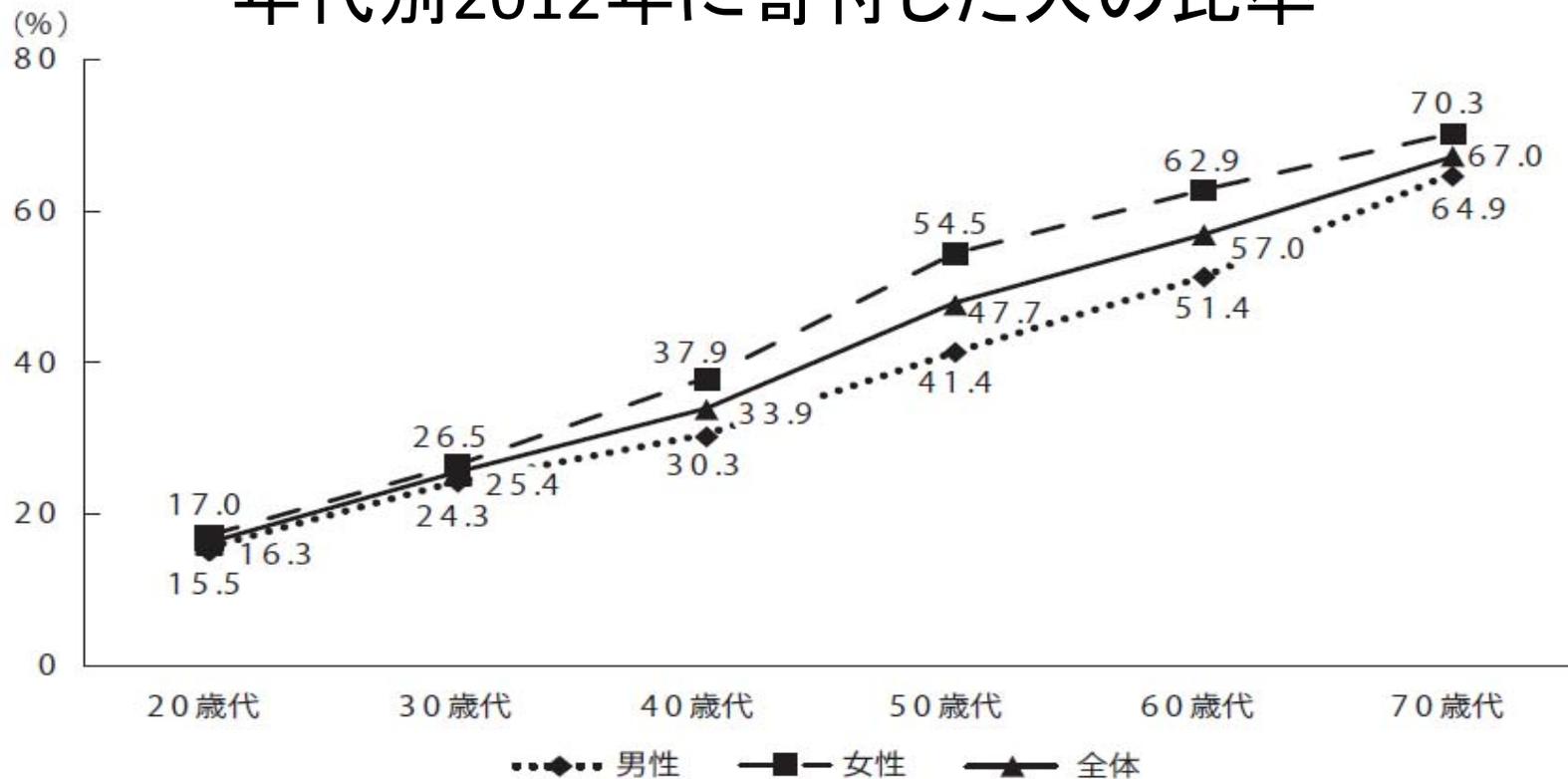


有資格者379名/必修研修受講者1200名
世界最大の認定機関との世界初の相互認証資格

その他、ファンドレイザー行動基準制定
特定寄付信託制度の実現
2014年から全国10拠点チャプター(支部)化推進

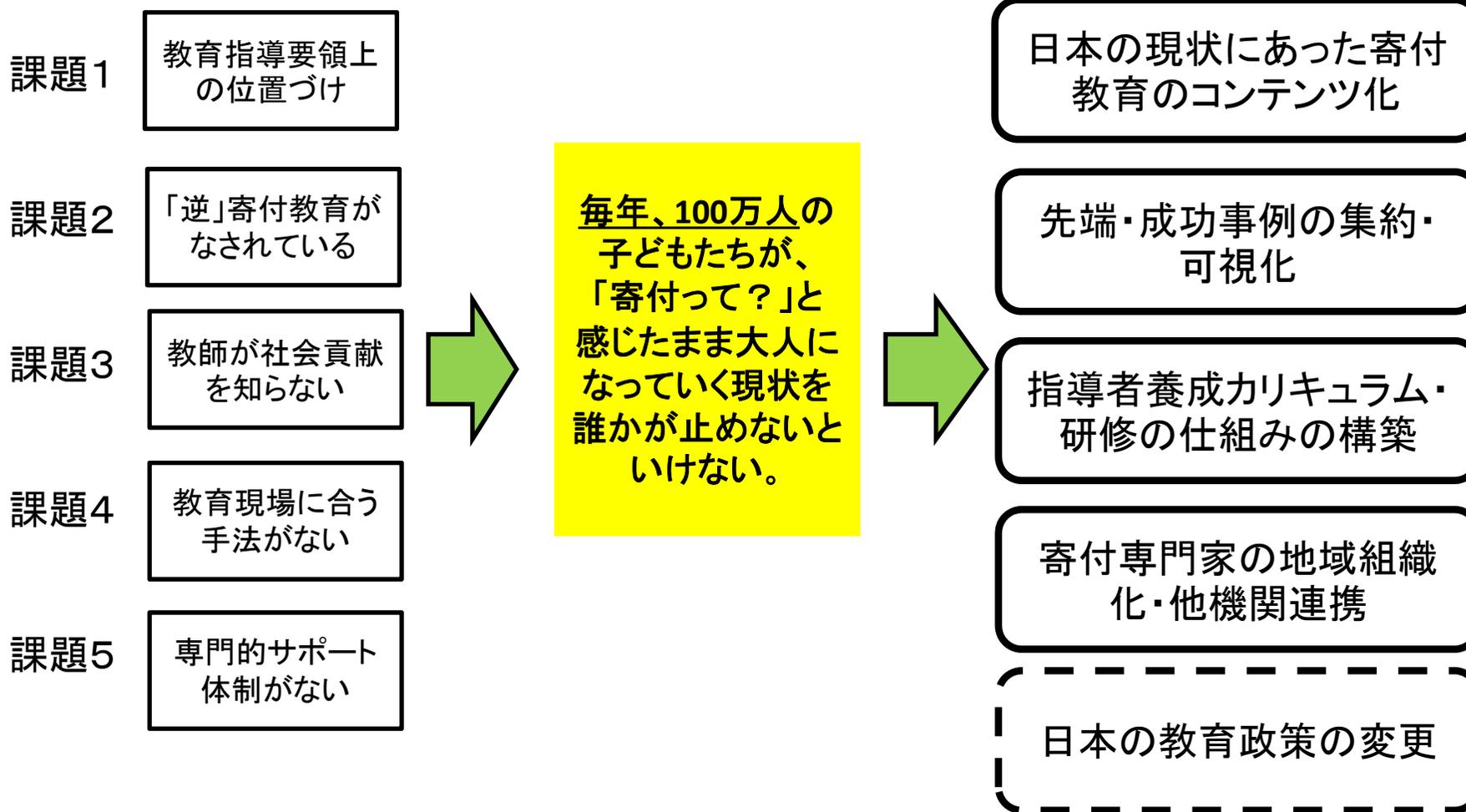
参考 ステークホルダーピラミッドの形成概念の拡張型

年代別2012年に寄付した人の比率



フィランソロピー教育の本質:「多様な価値観に基づき、社会のためになる行為を選択し、実行することを通じて、自らが社会にとってかけがえのない存在であることを知る」

現在の5つの課題



3年間で、寄付教育が「何時でも全小・中・高校でスタートできる状態」を実現します。



【コンテンツの整備と地域の体制構築】

世界のフィランソピー教育の中心、
インディアナ大学、教育専門家、教師、
全国のファンドレイザー等と連携します。

- 日本に最適な寄付教育コンテンツ制作。
テキスト化×カリキュラム化をスタート
- 先端事例を一堂に集めて紹介する
寄付教育オープンセミナーを開催
- 寄付者意識、寄付教育事情調査実施
社会貢献テキスト出版
- 地域の認定ファンドレイザーの組織化

【寄付教育指導者養成】

初年度に開発したツールをベースに
全国各地での指導者育成研修を実践
金融教育実施企業・団体等との連携

- 寄付教育指導者研修のモデル
事業開始→認定指導者
- 寄付教育オープンセミナー現場指
導者登壇拡大
- 金融教育団体・教育機関連携
- 認定FR地域拠点(5拠点)で
試行モデル構築

【10拠点での寄付教育の仕組み発足】

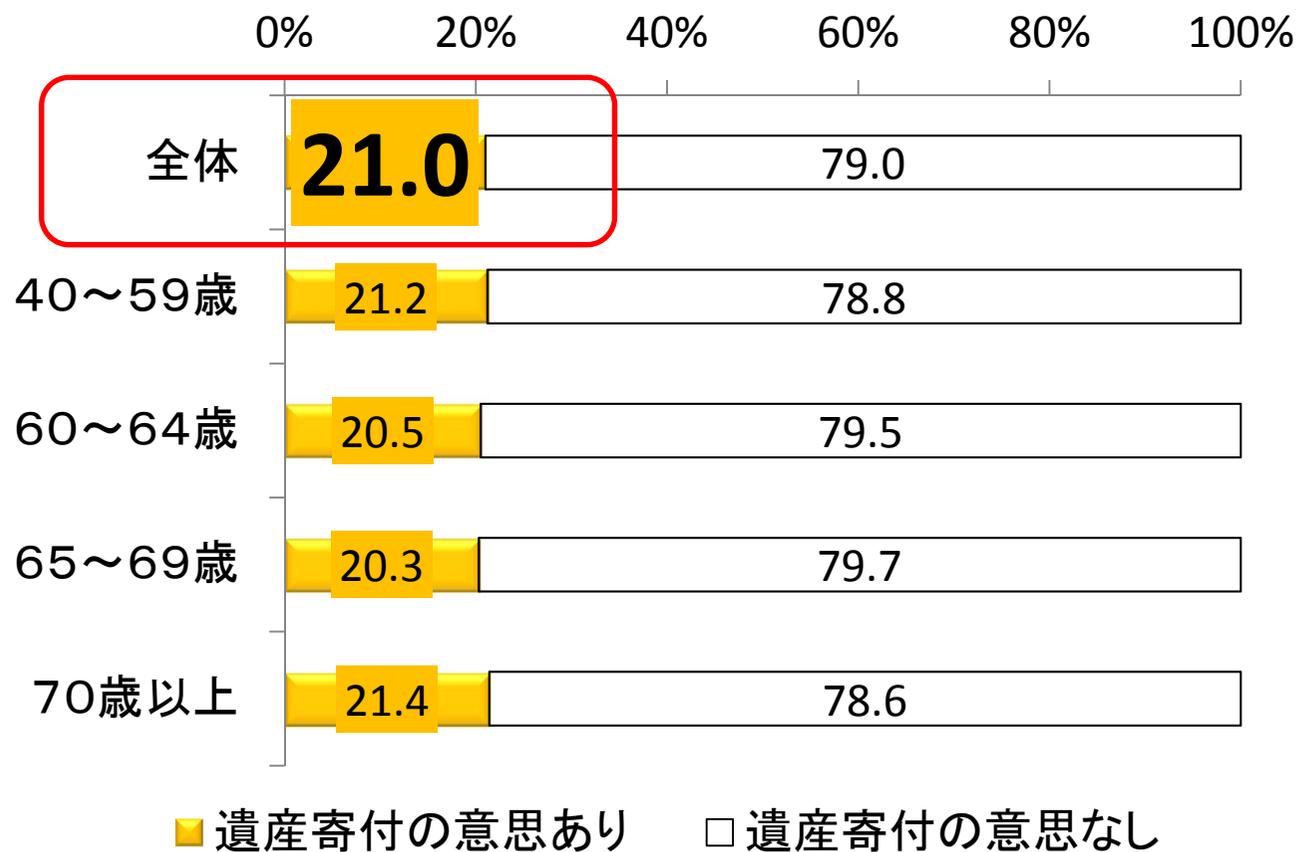
全国10拠点(地域ブロック)での寄付教育の
支援体制の発足(認定ファンドレイザーの
地域チャプターを母体とした支援・交流・研修
の拠点)+各地域組織連携の拡大

- 全国での教育指導研修
寄付教育ハンドバック発行
- フィランソピー教育カンファレンス化→
社会貢献教育のメッカに
- 文教政策への提案本格化
- 認定FR地域拠点(10拠点)で
継続モデル構築

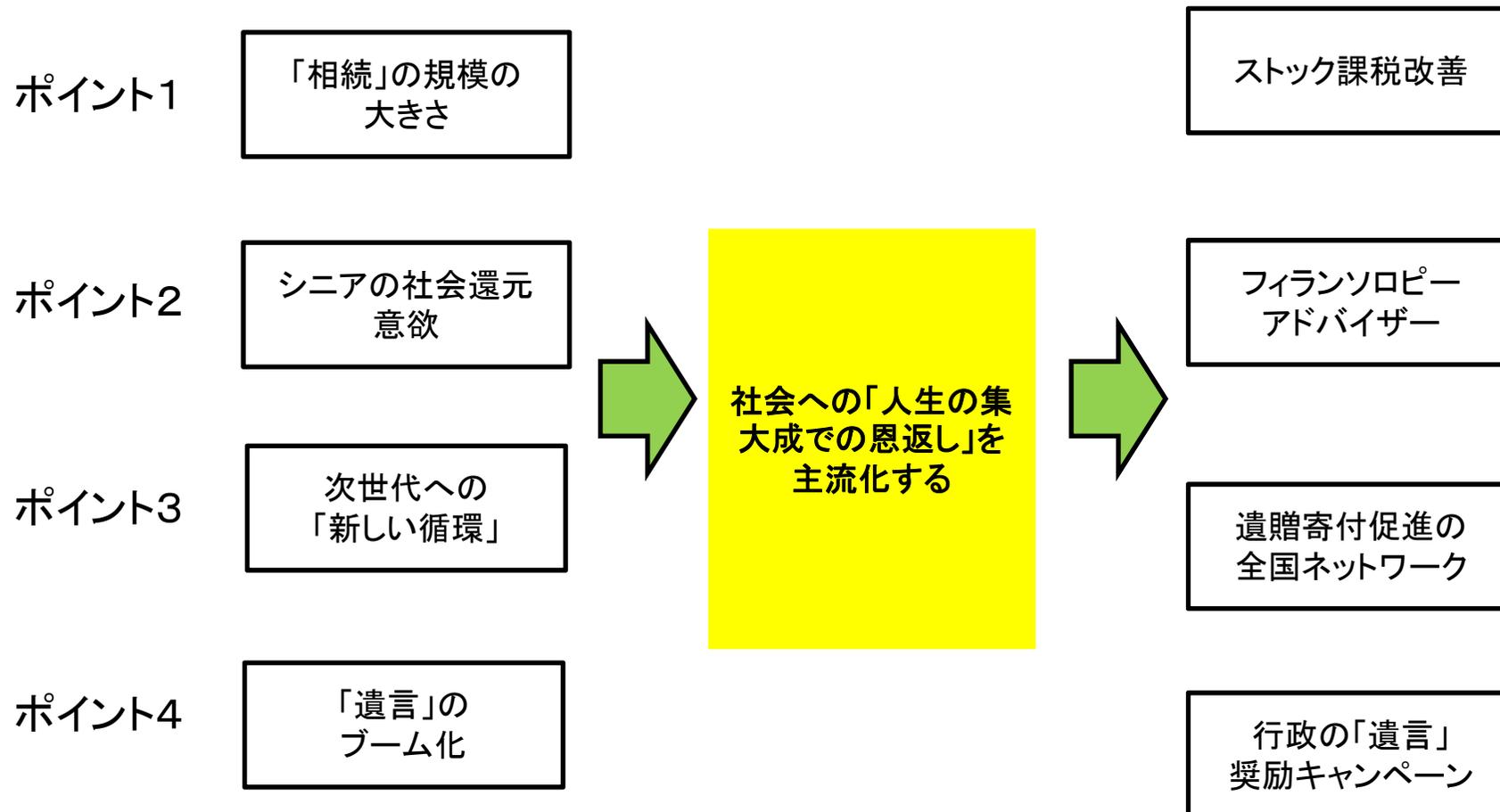
セカンド・トラック

文部科学省での寄付教育検討会の実現→教育指導要領への反映→教員採用試験、教員研修会コンテンツへの反映
全国コミュニティスクール協議会(1,000校参加)における寄付教育のメインストリーミング化
寄付教育推進協議会の発足、全国の関係組織との連携
認定ファンドレイザー1000名体制

参考 「遺産寄付」の今後の可能性が高い



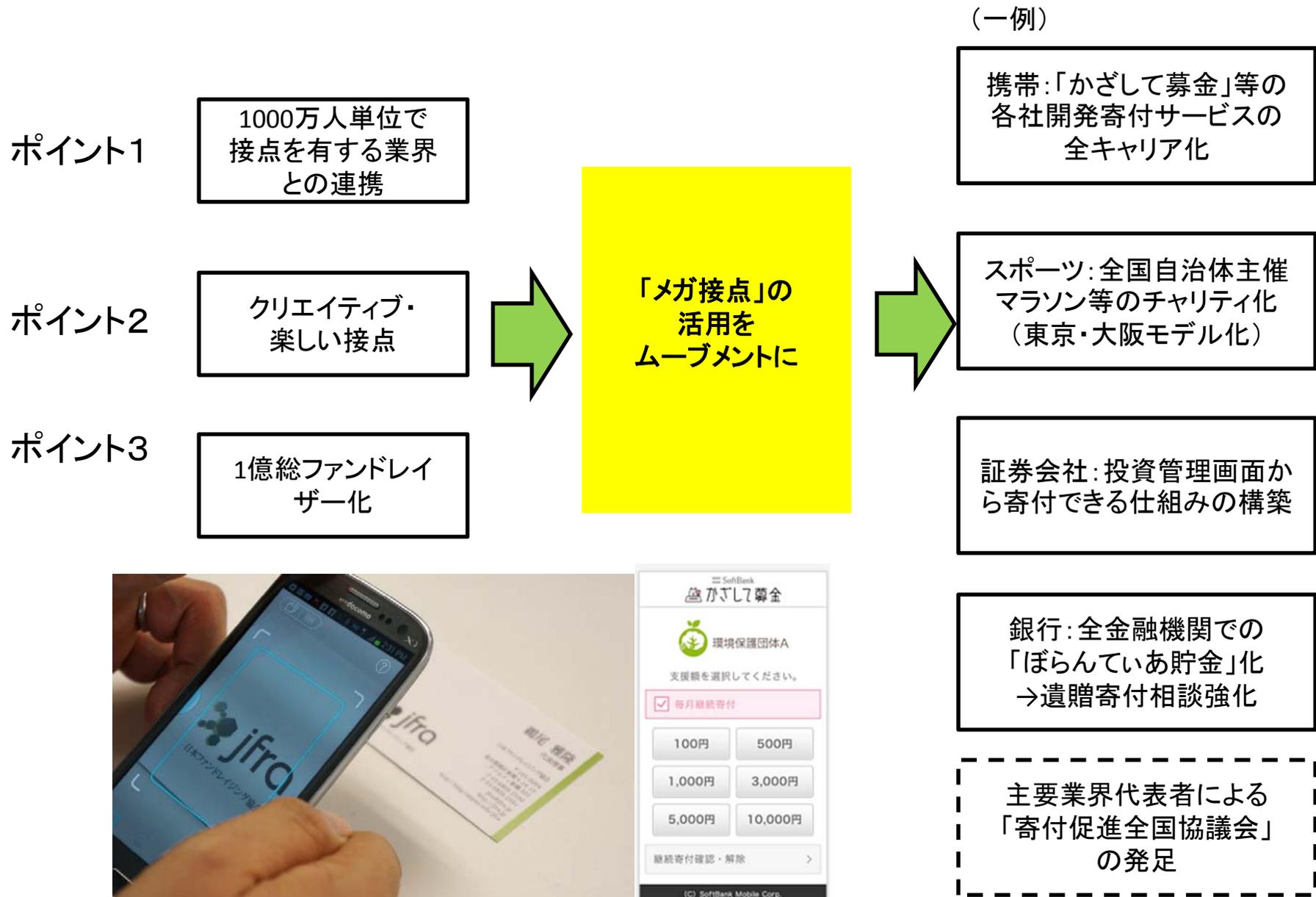
出典：寄付白書2013

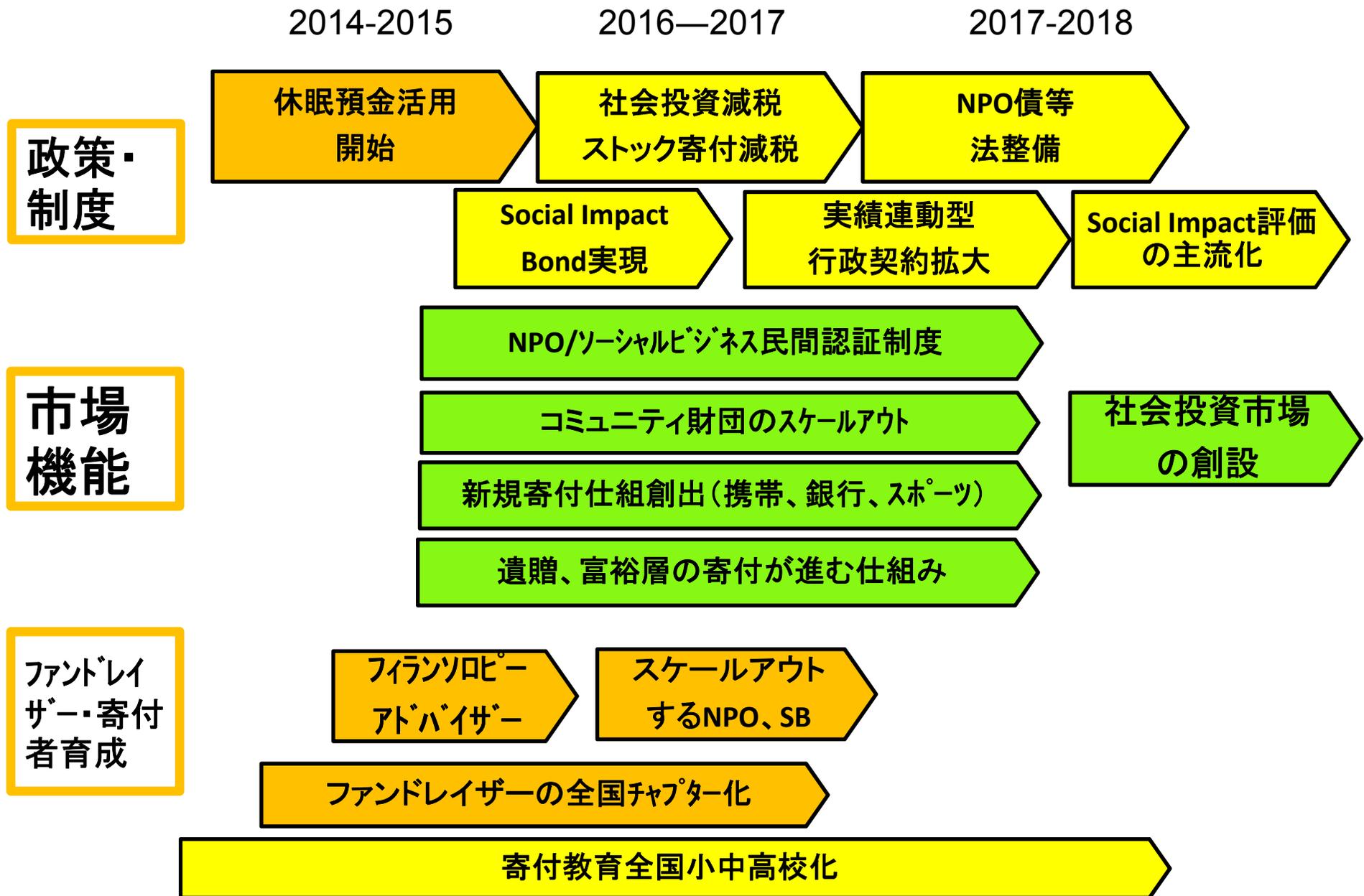


参考「自分にあった寄付の方法」 x 「ご縁の大切さ」



出典:寄付白書2013







ファンドレイジング協会が、やること

善意の資金循環に向けた全体像を描く、そして、「やる人」がいるところは全面的に応援する。「誰もやらない・できない」部分は協会がやる。⇒「結果」として、全体を構成する各アイテムが実現することを目指す

「応援」するカテゴリーで今後起こること・起こりそうなこと

- 民間の「NPO・ソーシャルビジネス認証」
- 魅力的でITも活かした資金仲介機能の多様化と拡大
- SSR (Sports Social Responsibility) 主流化
- 全国コミュニティ財団の強化
- ストック税制の改善、NPO債

「やる」カテゴリーで今後取り組むこと

- ファンドレイザーの育成、全国チャプター(支部)化
- 寄付教育の全小中高校での導入
- 「業界」と連携した寄付促進策の構築
- 遺贈寄付推進ネットワーク構築
- 社会貢献副読本、フィランソロフィーアドバイザー育成
- 富裕層の寄付促進のためのファミリー財団化支援策の実施
- 社会投資市場形成

【設立】寄付文化の革新をめざし、2009年、全国47都道府県の580人の発起人とともに設立。ファンドレイザーの育成、寄付文化醸成、社会投資推進を行う。

【会員】 960名・団体(2014年3月末現在)

【認定・准認定ファンドレイザー】 379名

【理事】

代表理事	鵜尾 雅隆 (株式会社ファンドレックス代表取締役)
副代表理事	白土 謙二 (株式会社電通特別顧問)
理 事	早瀬 昇 (認定NPO法人日本NPOセンター代表理事)
	伊藤 美歩 (有限会社アーツブリッジ代表)
	金沢 俊弘 (公益財団法人公益法人協会専務理事・事務局長)
	菅 文彦 (合同会社コース・アクション代表)
	岸本 幸子 (パブリックリソース財団代表理事)
	渋谷 健 (コモンズ投信株式会社社長)
	田幸 大輔 (政策分析ネットワーク・運営委員兼事務局長)
	田中 皓 (公益財団法人助成財団センター専務理事)
	林 泰義 (NPO法人玉川まちづくりハウス運営委員)
	山北 洋二 (あしなが育英会常勤監事)
監 事	浅野 晋 (弁護士)
	脇坂 誠也 (税理士)